

Lesson

遺伝子組換え作物

生物の細胞から有用な性質を持つ遺伝子を取り出し、それを他の生物の細胞の遺伝子に組み込み、新しい性質を持たせること。日本は遺伝子組換え作物を大量に輸入し、日本国内の大豆使用量の75%、トウモロコシ使用量の80%が遺伝子組換え作物と推定されています。

遺伝子組換え表示対象9品目

大豆

とうもろこし

ばれいしょ

なたね

綿実

アルファ
ルファ

てん菜

パパイヤ

からしな

✓ 大豆やとうもろこしを使った 製品(しょう油・豆腐など)によく見られる 分別生産流通管理とは？

生産、流通、加工の各段階で遺伝子組換えでない農産物を、遺伝子組換え農作物との混入が起これないように管理し、そのことが書類等で証明されていることです。



✓ 「分別生産流通管理済み」と「遺伝子組換えでない」の違い

遺伝子組換えに関する任意表示制度について、情報が正確に伝わるように改正されました。遺伝子組換え作物の意図せざる混入があるかどうかが大きな違いです。

旧制度

分別生産流通管理をして、意図せざる混入を**5%以下**に抑えている大豆及びとうもろこし並びにそれらを原材料とする加工食品

「遺伝子組換えでないものを分別」
「遺伝子組換えでない」

等の表示が可能

任意表示制度改正(2023年4月1日)

新制度

分別生産流通管理をして、意図せざる混入を**5%以下**に抑えている大豆及びとうもろこし並びにそれらを原材料とする加工食品
(混入している可能性がある場合)

適切に分別生産流通管理された旨の表示が可能

「大豆(分別生産流通管理済み)」
「大豆(遺伝子組換え混入防止管理済)」

等と表示が可能

分別生産流通管理をして、遺伝子組換えの**混入がない**と認められる大豆及びとうもろこし並びにそれらを原材料とする加工食品のみ
(混入率0%の場合)

「遺伝子組換えでない」
「非遺伝子組換え」

等の表示が可能

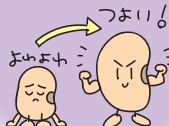
POINT

「遺伝子組換えでない」
=混入率0%!

旧制度では混入率5%以下でも「遺伝子組換えでない」と表記できましたが、新制度では混入率0%の場合のみ表記可能です。

遺伝子組換えのメリット

品種改良の
スピードが速い



農業の
低コスト化・省力



生産効率が
アップする



遺伝子組換えのデメリット

安全性や環境への
影響が不明



※収量が増える品種や、病気・害虫に強い品種の開発等

※除草剤を撒いてもたくましく育つ

ソイメディアHPより